

2026年度 群馬大学出張模擬授業一覧【情報学部】

プログラム	プログラムの内容	模擬授業分野	各分野の内容
人文情報プログラム	コミュニケーション実践のための語学能力と現実を生起しているコミュニケーションの分析能力を養成します。	コミュニケーション関連	現代社会で行われている様々なコミュニケーションを分析するための視点や枠組みについて、文学・哲学・言語学・社会心理学・社会学など様々な学問分野における考え方を紹介します。
	多様な地域・文化における情報メディア技術利用のあり方を分析する能力を養成します。	社会情報学関連	様々な地域や文化、あるいは学校や家庭などの様々な社会的領域における、情報メディア技術の用いられ方を分析するための学問的アプローチを紹介します。
	データ科学の手法や知見を踏まえた人文科学・社会科学の課題を探索する能力を養成します。	人文情報学関連	現代の情報化社会におけるデータと人文社会科学の関係や今後の課題を紹介します。
情報学	このプログラムは、高度情報化により変化する社会でどのような可能性や課題があるのか、そして発見した課題をどのように解決していくのかの手掛かりとなる考え方について、法律、政治・行政、環境、経済、経営などの学問分野をもとに説明していきます。	法律関連	情報化社会に関連する法律上の諸問題について紹介します。
		政治・行政関連	インターネットは政治や行政の世界を変えたのか、政治学・行政学からの考え方を紹介します。
		環境関連	生物多様性に係わる環境保全学的な学問分野や人々の社会環境における法的・経済的な学問分野について紹介します。
		経済学関連	経済理論だけでなく、企業・自治体・家計や地理にまつわる情報を活用し経済や政策の状況を把握・評価する経済学についても紹介します。
		経営学関連	市場や企業で流通し蓄積される情報と企業経営との関連を意識しながら経営学について紹介します。
会計学関連	財務状態や経営成績の測定・報告、経営者の意思決定など、企業の経済活動における会計情報の活用について紹介します。		
データサイエンスプログラム	このプログラムは、統計学、機械学習、数理最適化、データマイニング、シミュレーションなどを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、課題に対して適切なデータの収集能力・分析能力を身に付け、課題を数理的に定式化し、解決策の導出ができる人材を育てます。	データ科学関連 (データ分析と意思決定系)	今日、様々なデータに対して、そのデータに潜むパターンを、情報ネットワークとコンピュータを通して明らかにし、その背後にある現象を解き明かすための方法が数多く研究されています。また、どのような問題を解決するにも、状況に基づいて合理的に解決策を導くことが求められています。解決に必要なコストなども考慮し、できる限り効果的に解決することが重要です。出張授業では、データを分析するための枠組み（理論・方法論等）や、データ分析に基づく合理的かつ効果的な問題解決を行うための枠組みを紹介します。
計算機科学プログラム	情報科学の数学的な理論や、コンピュータの原理や構造、それらの応用技術について紹介します。	計算理論関連	コンピュータが行う様々な計算について、その計算を数学的に捉えて、複雑さの解明や、効率的な計算法などについて科学する学問分野について紹介します。
		情報工学関連	コンピュータシステムの原理や構造、その開発で利用される様々な手法や応用技術を工学的な立場で取り扱う学問分野について紹介します。